区政への質問

一般質問要旨

〈全文は、板橋区議会のホームページに掲載します〉

長瀬達也（合同クラブ）

行財政改革の推進を

【質　問】①実施計画などの改訂のあり方、進め方について区の見解を。②改訂の庁内検討会の構成員に、専門家、学識経験者および外部委員を加えるべきでは。

【区　長】①経営革新計画改訂の考え方は、すべての事務事業の総点検による見直しを行い、行財政改革の強力な推進である。また、「いたばしNo.1実現プラン２０１５」の改訂の考え方は、選択と集中の観点の強化による、特定分野に絞った重点的な行政資源の配分などの検討である。②計画改訂の基本方針は、民間の経験者や学識経験者などの外部委員で構成される経営革新諮問会議の答申などを踏まえて、作成したものであるため、改めて外部委員を参加させることについては考えていない。

市民後見人の活用を

【質　問】成年後見制度において市民後見人の一層の活用を。

【区　長】養成研修の実施や研修修了者名簿の作成など条件を整備した上で、軽易な後見業務の事案での活用を検討する。

東武練馬駅臨時改札口の常時改札化を

【質　問】東武練馬駅臨時改札口の常時利用化または時間延長を。

【区　長】早急に実現できるよう、東武鉄道との協議を粘り強く継続していく。

※以上のほか、区における法務・会計の強化策、生活保護について質問があった

東武練馬駅臨時改札口

山田貴之（自民党）

持続可能な区政運営を

【質　問】①財政健全化に向けた現状認識と目標達成への意気込みは。②住民票などの窓口業務の外部委託化は、人件費の削減や、休日対応などのサービス向上が期待できる。積極的に推進を。

【区　長】①支出が収入を上回り、基金を投じた予算編成が続いている。基金に依存しなくても予算編成が可能な財政基盤を構築し、持続可能な区政経営に転換することが未来への責任を果たすことと確信している。②足立区が勉強会を立ち上げている。研究の場には積極的に参加する。

商店街振興を問う

【質　問】①商店街のために中長期的な構想の支援体制の確立を。②区施設で行われているイベントの商店街の空き店舗などでの開催可能性は。

【区　長】①都の地域連携モデル商店街事業に参加している商店街への支援や商店街にぎわい再生プロジェクトに着手している。今後も持続可能な商店街づくりに取り組む。②十分に実現可能と考える。

教育環境の整備を

【質　問】①寺子屋事業を担っているＰＴＡ役員の負担が大きい。情報提供や人材の派遣などのサポートを。②都の芝生出前講座などを周知し、芝生を体験できる環境整備を。

【教育長】①寺子屋運営連絡会議や寺子屋会議における情報交換、寺子屋だよりを作成し魅力あるプログラムや人材情報の共有化を図っている。②今後も実施校と連携しながら、都の事業の周知に努めて芝生化を推進する。

災害対策を問う

【質　問】①中台地域の広域避難場所にはサンシティが含まれていて、災害時に避難者が大勢集まることが想定される。災害に備え、サンシティ管理組合と定期的に対話を。②マンション防災に特化した災害対策講座の開催などマンション防災意識の啓発を。

【区　長】①サンシティの住民および近隣住民への災害対策の両立に向け、継続して協議・検討を進める。②防災をテーマにしたマンション管理セミナーを開催している。引き続き啓発に取り組む。

※以上のほか、文化振興、文化振興策についての具体的な提案、文化施設・作品・資料の活用促進、スポーツ振興施設の早朝利用実施、情報発信、区政制定80周年もてなしの心について質問があった

田中しゅんすけ（自民党）

医療・福祉施策について問う

【質　問】①いたばし地域包括ケアシステムの役割と在宅医療連携拠点の整備への見解は。②子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの無料化を。③水ぼうそう、おたふく風邪、成人用肺炎球菌、Ｂ型肝炎ワクチンにさらなる公費助成を。④新高齢者リフレッシュ事業の継続を。

【区　長】①介護と医療が連動した仕組みを検討する。②予防接種の費用は、都、特別区、東京都医師会で決定される。無料化も含めて検討する。③国の動向を注視。④見直す。

教育課題を問う

【質　問】①基礎学力向上のため、百科事典や図鑑なども含めた学校図書の一層の充実が必要では。②図書利用を促進するため、授業において学校図書館を活用し、探求学習を行うべき。③司書配置の拡大を。④区内全小・中学校で租税教室の実施を。

【教育長】①各学校に計画的な図書購入を行うよう周知し、標準に達していない学校には指導徹底を図る。②各教科や総合的な学習の時間などで読み聞かせや調べ学習、読書活動などに活用されている。③財政的負担が大きいため、学校図書館ボランティアとの連携などの方策を検討したい。④23年度は35の小・中学校で実施。より多くの学校で開催できるよう年間計画に組み込むなど租税教育の推進を図る。

災害対策を問う

【質　問】①板橋三丁目、仲宿、本町の一部の地区は、木造住宅密集地域整備事業が22年度で終了した。整備はいまだ途上であり、さらなる対策が必要では。②板橋・仲宿地域の町会・自治会が東京防災隣組に認定された。地域の取組みに対して積極的な支援を。③地域センター別防災マップ作成の進捗状況は。④地域事情に合った学校防災計画を早急に作成すべき。

【区　長】①東京都建築安全条例に基づく新防火地域の指定により建物の不燃化推進を進めている。②５町会合同の防災訓練にホースの増強やスタンドパイプを配置した。24年度はＤ級ポンプの再配備や訓練用水消火器の増強により地域防災力の向上を図っていく。③25年度から稼働する統合型ＧＩＳにおいて公開できるよう調整を図る。

【教育長】④現在、地域防災計画の見直しをしており、各課題については、区長部局と連携し検討していく。

杉田ひろし（自民党）

防災対策を問う

【質　問】①全小中学校に緊急地震速報受信機の整備を。②防災無線のデジタル化の進捗状況は。

【区　長】①年内には方針を定め、財政状況を勘案し、配備を行う。②10月頃から順次デジタル化した新システムの設置、交換作業を進める。

教育支援環境の整備を

【質　問】①教員の校務業務の効率化と事務負担の軽減のため、さらなるＩＣＴ化の推進・充実を。②23区でナンバーワンの教育支援センターとなるよう検討を。

【教育長】①校務支援システムは最優先すべき課題と認識。早期導入などでＩＣＴ化の推進に向けて努力する。②外部講師などによる教育課題の研究やメディアセンターを設置し、充実を図っていく。

障がい者福祉を問う

【質　問】①障害者虐待防止センター開設の進捗状況は。②福祉園の増設を。

【区　長】①24年10月に開設できるよう準備を進める。②今後も検討を進める。

待機児対策の拡充を

【質　問】23年度板橋区区民意識意向調査によると「重点的に力を入れるべき施策」は、「子育て」が第1位だった。保育園の定員増加目標のさらなる増加を図るべきでは。

【区　長】定員増加の目標数の上方修正を検討したい。

児童館のあり方を問う

【質　問】①児童館の適正配置、学童クラブの空き施設を活用し、障がい児放課後クラブの設置を。②都の区市町村発達障害支援体制整備推進事業を活用し、大人の発達障がい者の居場所づくりを。

【区　長】①旧坂下けやき台学童クラブの施設を活用し25年４月に放課後等デイサービス施設を開設予定。②活用も含めて検討を進める。

りんりんＧＯの周知徹底を

【質　問】24年４月に三田線新高島平駅ルートを延伸した。様々な周知活動の実施を。

【区　長】ＰＲ活動を展開し、利用者数の増加に努める。

※以上のほか、選択と集中、大山のまちづくりと東武東上線連続立体化、オリンピック・パラリンピックの招致活動、生活保護、町会・自治会の加入率向上への支援、地下鉄赤塚駅へエレベーター及びエスカレーターの早期設置について質問があった

仲宿地区の木造住宅密集地域

なんば英一（公明党）

学校給食の放射線測定を問う

【質　問】24年度の検査内容は。

【教育長】民間検査機関への委託による検査を１学期ごとに１回実施する。また、24年度は新たに調理当日以前に学校に納品される乾物類などについて、１学期ごとに５品目